

令和6年7月1日 14時00分
資料配布 近畿地方整備局

7月9日、舞鶴港で「小型船によるクルーズ旅客輸送に向けた実証事業」を実施 ～小型船によるクルーズ旅客の輸送手段分散化を目指して～

国土交通省港湾局では、クルーズ旅客の利便性や安全性の向上に向けたクルーズ旅客受入施設の適正な配置などを検討するため「クルーズ旅客の受入機能高度化に向けた検討会」を開催しています。検討の一環として、クルーズ船寄港地における、陸上の二次輸送（バス・タクシーなど）不足や海洋周辺の観光コンテンツ不足によるオーバーツーリズムの発生に対応するため、「二次交通としての小型船利用促進に向けた旅客動線のあり方」を検討する実証事業を行うこととしているところです。

このたび、舞鶴港における小型船によるクルーズ旅客輸送に向けた実証事業として、舞鶴港第2ふ頭にあるクルーズターミナル「うみとびら」周辺の現地確認を行うとともに、舞鶴港から伊根湾を経由し天橋立港に至る航路でのトライアル運航を行い、京都府北部の代表的な観光地である伊根・天橋立方面への海上からの旅客輸送の有用性を検証します。

- 日時 令和6年7月9日(火) 10:30～11:30(現地確認)、11:30～15:00(トライアル運航)
- 場所 舞鶴港第2ふ頭「うみとびら」(京都府舞鶴市松陰18)及び舞鶴西港棧橋
- 実証内容 現地確認:
「うみとびら」内の施設配置、「うみとびら」から小型船が接岸する棧橋までの旅客動線並びに設備を確認し、利便性・安全性・効率性での課題を把握します。
トライアル運航:
現状、伊根・天橋立方面への移動手段はバスなどの陸路が中心ですが、観光バスの不足や路線バスの混雑等の課題が生じているところ、小型船による移動の有用性(景観・快適性・所要時間)を検証します。
- 参加機関 国土交通省港湾局、近畿地方整備局、京都府、舞鶴市、宮津市、伊根町、丹後海陸交通株式会社、一般社団法人みなと総合研究財団(順不同)

※取材について

「うみとびら」周辺での現地確認のみ取材可能です。

ご希望される方は、7月8日(月)12:00までに電子メール(pa.kkr-cruise@gxb.mlit.go.jp)で事前登録いただきますようお願いいたします。

当日は10:00～10:30までに会場へお越しください。(現地に駐車場はございません。)

【電子メールによる事前登録】

メールタイトルを「舞鶴港実証事業取材申込」とし、メール本文に、①社名②氏名(ふりがな)③連絡先を記載ください。

<取扱い>

—

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、神戸海運記者クラブ、
神戸民放記者クラブ、みなと記者クラブ、神戸経済記者クラブ、港湾新聞社、
マリタイムデーリーニュース社、海事プレス、港湾空港タイムス、舞鶴市政記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省近畿地方整備局 港湾空港部

担当: 港湾高度利用調整官 いちのせ 一瀬、クルーズ振興・港湾物流企画室長 やまもと 山本

Tel:078-391-3102(直通)

舞鶴港における小型船によるクルーズ旅客輸送に向けた実証事業の概要

■現地確認の概要

下記①～⑥を徒歩、車いす併用で実施。

	項目	備考
①	現地確認の概要説明	
②	「うみとびら」内の動線確認	車いす併用 チェックリスト使用
③	「うみとびら」⇒Aに移動	同上
④	現地確認への質問、意見交換	
⑤	トライアル運航	車いすによる乗下船を実施

※「うみとびら」内の施設配置、「うみとびら」から小型船が接岸する棧橋までの旅客動線並びに設備を確認し、効率性・利便性・安全性での課題を把握します。



・地理院地図（電子国土 Web）を加工して作成

■トライアル運航の概要

①運航ルート

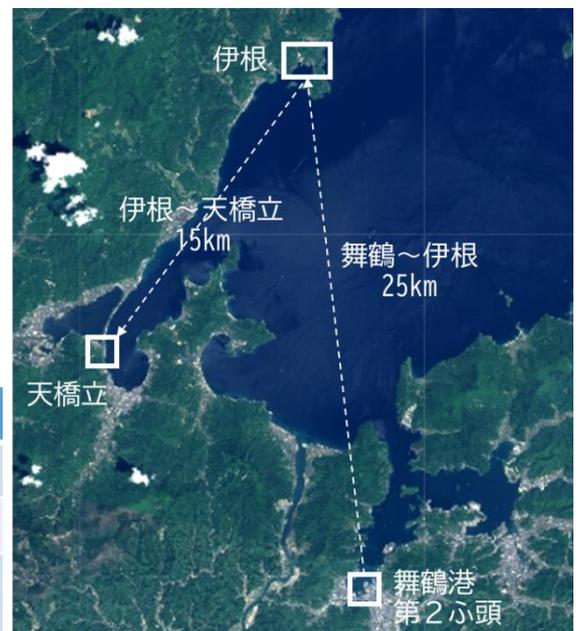
※舞鶴港～伊根～天橋立

※現状、伊根・天橋立方面への移動手段はバスなどの陸路が中心ですが、観光バスの不足や路線バスの混雑等の課題が生じているところ、小型船による移動の有用性（景観・快適性・所要時間）を検証します。

②使用船舶

項目	備考
船名	KAMOME 7
乗船定員	150名
船内設備	2階建双胴船。 1階客室25席、1階甲板20席、2階32席。 エアコンあり。トイレ付き。
救命設備	<ul style="list-style-type: none"> 救命浮器12人用(個) 13個 救命胴衣大人用(個) 152個 小児用(個) 16個 幼児用(個) 4個 救命浮環(個) 1個
船舶検査の受検状況	直近受検した年月日 2023年8月1日 有効期限：2024年10月31日

※丹後海陸交通(株)HP より



・地理院地図（電子国土 Web）を加工して作成



※丹後海陸交通(株)HP より